



外国出張報告書

平成 27 年 10 月 22 日

1. 出張国名 フィリピン、インドネシア

2. 出張月 平成 27 年 8 月～10 月

3. 出張目的

国際稲研究所(IRRI)にて、2015 年雨期作の農業形質調査および収穫物調査を行う。インドネシアにおいて、プロジェクトの最終報告、今後の育種材料の取り扱いに関する打ち合わせ、およびセミナーを行う。: A

4. 成果の概要

2015 年雨期作において、IR64 にコシヒカリの様々な出穂性遺伝子を導入した染色体断片置換系統を試験したところ、IR64 に比べて出穂日が改変された系統が多数確認できた。また、熱帯の主力 5 品種に早朝開花性の QTL (qEMF3) を導入した準同質遺伝子系統では、開花時刻が早まっていることが確認できた。更に、その他農業形質調査や種子増殖のための育成系統を収穫した。IRRI 拠出金事業の最終会議で成果を発表し、次期中期計画の IRRI との共同研究について、IRRI 側担当者である植物遺伝・育種・バイオテクノロジー部部長と打ち合わせをした。インドネシア稲研究センターを訪問し、気候変動プロで育成した有望系統の試験状況を確認し、次期中期計画の研究協力体制について協議した。